

タイ王立舞踊団 徳島公演

プログラム

古典仮面劇「ラーマキエン」(シーダーラックヨップロック)
タワラワディー(ポランカディ)
民族舞踊(タイ地方の4つの踊り)



ユネスコ無形文化遺産に

登録された至宝の舞「ラーマキエン」

色とりどりの民族舞踊をお楽しみください。

〈出演〉

タイ王立舞踊団(35名)

秋元加代子タイ舞踊団(8名)

2024年 **6月10日(月)** あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) 1階ホール

開場18:00 開演19:00 終演20:30(予定)

入場料

一般指定席 3,000円

U-25指定席 1,000円

※未就学児の入場はご遠慮いただいております。

プレイガイド

■あわぎんホール(窓口・電話・WEB)

※あわぎんホール窓口は会館南側新町川沿いの1階にあります。

※車いす席をご利用のお客様は、あわぎんホールにお問い合わせください。

お問い合わせ: あわぎんホール(徳島県郷土文化会館) Tel:088-622-8121 E-mail:jigyo@kyoubun.or.jp

主催: 徳島県、公益財団法人徳島県文化振興財団 派遣協力: タイ王国文化省芸術局 制作協力: NPO 法人日本・アジア芸術協会

タイ王立舞踊団 徳島公演



東北部

プログラム説明

タイ舞踊は指先の芸術と言われる程、指先を繊細に美しく使います。そのため手をそらすという技法で、爪を付けて踊ることもあります。感情表現は神秘的であり、全ての感情を浄化しながら気品高く美しく表現します。

タイ各地方の民俗舞踊は、タイ庶民の生活に密着して生まれた踊りで、男女で踊る踊りもあります。地方によって特色があり、北部、中部、南部、東北部の4つの地方に分けることができます。今回上演する『ラーマキエン』はタイ古典舞踊の至宝で、タイ仮面劇を代表する作品です。

現在ではタイ王国の最高叙事詩に位置付けられ、タイ古典舞踊を語る上では欠かせないものになっています。ラーマキエンは大変優雅で男性も女性のように美しくお化粧をし、金糸銀糸を使用した煌びやかな衣装を纏っています。今回ご覧いただくのは、ラーマ王子と鬼のトッサカンがシーダー姫を奪いあう戦いの場面です。そして、民俗舞踊にも古典舞踊にも属さない、タワラワディー時代の遺跡に描かれている天使の踊り『タワラワディー』もご披露致します。

この「タイ王立舞踊団 徳島公演」は民俗舞踊、古典舞踊を織り交ぜた見所の多い内容となっております。ごゆっくりお楽しみください。



タイ王立舞踊団

1934年に教育省芸術局(当時)の初代局長ルアン・ウィチット・ワータカーン氏によって設立されたタイ演劇芸術学校が前身。翌年に芸術局直属の舞踊団となり、東南アジアのなかで、王立の舞踊団としては最も歴史が古い舞踊団でもあります。国立劇場に隣接する旧副国王の宮殿を校舎に、タイの伝統舞踊家と音楽家を育成し、数多くの人材を輩出しています。これらの伝統的な古典舞踊をはじめ、仮面舞踊劇や地方の民俗舞踊などを研究し、タイ舞踊の発展に寄与しています。また、タイ国内において最高峰の舞踊団として位置づけられているほか、世界各国での公演活動を展開し、高い評価を得ています。特に、日本との交流も数多く行われ、広くタイの芸術文化の紹介に努めています。

秋元加代子タイ舞踊団

1987年に日タイ修好100周年記念公演として、『マノーラ』をタイ王立舞踊団と共演して以来、定期的にタイ王立舞踊団およびチュラロンコン大学との公演をタイと日本各地において、数多く行い、タイ王室関係者および日本の皇室の面前でタイ舞踊を披露し、高い評価を得ています。

主宰者である秋元加代子は日本におけるタイ舞踊家のパイオニアとして後継者の育成に努める一方、国内外での舞台制作、公演活動に携わり、この功績がタイに認められ、タイ王国より褒章を受けています。舞踊劇団もタイ国立劇場の王立舞踊団から定期的に指導を受け、日本とタイでの芸術交流に尽力しています。



お問い合わせ

あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

徳島市藍場町2丁目14番地 TEL. 088-622-8121 FAX. 088-622-8123

E-mail. jigyo@kyoubun.or.jp <https://www.kyoubun.or.jp>

X (旧Twitter) & Instagram: @awaginhall

Facebook: @kyodobunkakaikan

